

## (12) 災害対策費



事業名	災害対策費（総務費 一般管理費）		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	02	総務費	
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署					目	01	一般管理費
事業費		30,162,430 円		事業の目的・目標	豪雨災害による被害の早期復旧のため職員体制の強化等を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	30,162,430 円					

施策の内容、実績、及び効果

○ 内容

豪雨災害による被害の早期復旧等のため、島根県からの職員派遣や委託により職員体制の強化を図った。

● 職員体制の強化

○ 実績

	人数	期 間	決算額
島根県から自治法派遣	2 人	平成27年4月1日 ～ 平成28年3月31日	17,963,676
島根県土地改良事業団体連合会（委託）	1 人	平成27年4月1日 ～ 平成27年12月31日	11,988,000
合 計			29,951,676

※ 決算額の内訳

派 遣 負担金、災害派遣手当、赴任・帰任旅費、使用料及び賃借料  
委 託 現場支援業務委託料

○ 効果

地方自治法の規定に基づき、派遣要請をしたところ、島根県から2名の職員を派遣していただき、災害の早期復旧等に向け大きな力を発揮してもらうことができた。  
また、平成26年度に引き続き島根県土地改良事業団体連合会に委託していた現場技術支援業務も順調に進行し、予定より早期に完了してもらうことができた。

● 職員会館会議室借上

○ 実績

	期 間	決算額
会議室借上料	平成27年4月1日 ～ 平成28年3月31日	210,754

※ 決算額の内訳 (光熱水費分を負担する。)

○ 効果

対策室を別に設置することにより、災害復旧に集中した業務を行うことができた。

事業名	災害対策費（総務費 情報システム費）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
事業開始年度	平成 27 年度	事業進捗率 100 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務 課	情報統計室情報統計 係		目	14	情報システム費
事業費		1,356,000 円	事業の目的・目標	平成25年の豪雨災害におけるCATV設備の修繕		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	1,356,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

- 25年8月に起きた豪雨災害により、桜江町鹿賀のCATV線を共架していたNTT柱が倒壊。NTT柱の新規建柱後に光ファイバケーブル等を張りなおす。  
光ファイバケーブル340m  
同軸ケーブル520m
- 当該電柱は県道の補修が終わらないと建柱できないため、しばらく保留となっていた。平成27年9月にNTT柱の建柱の連絡が入ったため、施工。  
平成27年9月29日完了報告 ※完了日平成29年9月25日  
平成27年9月29日完了検査



川越三幹19F



川越三幹19E

事業名	災害対策費（総務費 諸費）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率 100 %		項	01	総務管理費
担当部署	政策企画	課 政策企画		係	目	18 諸費
事業費		453,000 円	事業の目的・目標	平成25年8月23日からの大雨を原因とする土砂災害により、居住家屋の宅地内への崩落土砂等を撤去するためにかかる経費について補助金を交付する。公共災害復旧事業の対象外ものを対象として、早期の災害復旧・復興を図ることを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源		453,000 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

居住家屋の宅地内へ崩落した土砂等を撤去するための費用について、補助金を交付する。

#### ●補助対象者

居住家屋又はその宅地内の土砂等の撤去に要する経費を負担し、原則、江津市内に本社又は営業所を有する業者に発注する者。

#### ●対象経費及び補助額

補助対象経費は、土砂災害により発生した土砂等の撤去費として土砂等を撤去する業者に支払う額。

補助額は、補助対象経費から3万円を控除し、残額に3分の2を乗じた額（当該額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額）以内とし、50万円を限度とする。

#### ○事業の実績

平成27年度は、補助対象期間内に申請を行った者の内、事業が完了しなかったもののみを対象として事業実施した。

未完了件数 2件  
うち平成27年度完了件数 2件

#### ○事業の効果

平成26年度中に工事が完了しなかった2件については、すべて平成27年度中に工事が完了した。これにより、平成25年度からの当事業が平成27年度を持って完了し、被害に遭われた方の災害復旧を行なうと共に、今後の災害に対する安心安全に寄与する事が出来た。

事業名	災害対策費（農林水産業費）		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成 27 年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産 課			目	03	農業振興費	
事業費				5,024,000 円		事業の目的・目標	
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		2,290,000 円				
	地方債		円				
	その他		円				
一般財源		2,734,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

●農業復旧対策事業費補助金

内 容	事業費
平成26年12月4日からの大雪により被災した農業生産施設を早期に復旧するため、島根県農業復旧対策事業補助金交付要綱に基づき被災施設の復旧を行う者に災害復旧費の一部を補助する。 ○補助率 ・小規模土地基盤整備及び施設整備に係る経費の2/3 ・下限事業費：40万円	4,581,000

(総括表)

補助金申請件数	4件
総事業費	8,850,719
補助金交付額	4,581,000

(内訳表)

補助対象施設名	申請件数 (件)	補助金額 (円)
パイプハウス	4	4,581,000
棟数	6	

【パイプハウスの復旧】



<施工前>



<施工後>

●農地及び農業用施設災害復旧応急対策費補助金

内 容	事業費
平成25年8月23日からの大雨により被災した農地及び農業用施設で、更なる被害拡大の防止や次期作付け等のために復旧対策を行う者に対し、補助金を交付する。 ○補助率 ・備品及び資材購入費並びに機械借上料：補助対象経費の2/3 ・工事請負費：補助対象経費の1/2 ・補助限度額：10万円/1戸	443,000

(総括表)

補助金申請件数	7件
申請事業費	874,892
補助金交付額	443,000

(内訳表)

補助対象施設名	申請件数 (件)	補助金額 (円)
田	3.0	143,000
用水路	2.0	199,000
排水路	1.0	28,000
農道	1.0	73,000

【堰板の復旧】



<施工前>



<施工後>

事業名	災害対策費（林業費）（繰越分含む）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	林業費
担当部署	農林水産	課	林業水産		目	01	林業総務費
事業費		12,984,783 円		事業の目的・目標	平成25年度災害で被災した作業道を復旧することで遅れている森林施業を実施したい。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	3,985,000 円					
	地方債	円					
	その他	5,946,680 円					
	一般財源	3,053,103 円					

施策の内容、実績、及び効果

【内容】

作業道川挟線、大野山線、糸谷線、空城線、高丸線、長戸路線の復旧を行う。

【実績】

工事箇所	事業量	修繕費(円) 【繰越分】	修繕費(円)
作業道大野山線	L型擁壁L=6.0m、崩土除去	774,360	797,040
作業道糸谷線	土留工L=30.8m、崩土除去	3,168,720	270,000
作業道空城線	支障移転電柱2本、伐開木の処分	2,133,000	1,793,823
作業道高丸線	掘削工V=430m <sup>3</sup>	2,156,760	—
作業道川挟線	大型土のうL=6.0m	1,698,840	—
作業道長戸路線	崩土除去	—	192,240
6路線計		9,931,680	3,053,103

【効果】

作業道を復旧することにより施業実施が可能となった。

作業道空城線

着工前



完了



作業道大野山線

着工前



完了



事業名	災害対策費（商工費）（繰越含む）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	07	商工費
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率		項		
担当部署		%		目		
事業費（A）		3,572,600 円	事業の目的・目標			
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	2,700,000 円				
	地方債	円				
	その他	837,600 円				
	一般財源	35,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

項目	所管課	内容	事業費
商工費 商工総務費	商工観光課	平成25年8月23日からの大雨による災害及びこれに起因する事象により被害または損害を受けた中小企業者の経済的負担を軽減し、早期の復旧を支援する。	35,000 円
商工費 観光費	商工観光課	H25年の豪雨災害により被害を受けた有福温泉地において、観光客の散策ルートを改修・確保し、有福温泉の魅力向上を図る。	3,537,600 円

○商工総務費

●事業の内容

被災事業者が自らの事業（農林水産業に係るものを除く。）を復旧するために必要と認められる資金またはその一部で、平成28年3月31日までに借り入れた次のものに対して、災害復旧資金利子補給金等を交付する。

①島根県中小企業制度融資による資金

申請年度に支払った信用保証料と利子の合計額の2分の1に相当する額

②株式会社日本政策金融公庫による資金

申請年度に支払った利子の合計額の2分の1に相当する額

- ・交付対象期間 融資が実行された日の翌日から起算して3年を経過する日まで
- ・交付限度額 交付対象期間の合計額で20万円

●事業の実績

交付件数 3件

●事業の効果

被災事業者の資金繰りにおいて、金利等の負担軽減を図り、早期の事業復旧に寄与することができた。

○観光費

●事業の内容

H25年の豪雨災害に伴う災害復旧工事（島根県おもてなし観光地魅力向上事業費補助金活用）

- ・有福大仏参拝路改修工事（繰越分）

●事業の実績

- ・有福大仏参拝路改修工事（繰越分）

事業費（H27分）：3,537,600円

※総事業費5,826,600円（うち県補助金2,700,000円）

うちH26実施分2,289,000円

施工箇所：有福大仏参拝路

●事業の効果

景観を考慮しながら市道の法面を復旧とともに通行を可能としたことで、観光客や地域住民の利便性の向上と温泉地の景観の向上、安心安全な観光地づくりを行うことが可能となった。

事業名	災害対策費（道路橋梁総務費）（繰越含む）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	08	土木費
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率		項	02	道路橋梁費
担当部署	土木建設 課	災害復旧室 公共土木災害復旧 係		目	01	道路橋梁総務費
事業費		58,840,344 円	事業の目的・目標	平成25年発生災害により被災した法定外公共物（赤線・青線）を復旧する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	9,235,080 円				
一般財源	49,605,264 円					

施策の内容、実績、及び効果

【繰越分】

単位：円

区 分	繰越決算額	備 考
工 事 請 負 費	9,235,080	赤線 4 箇所、青線 2 箇所

●長谷青線（桜江町長谷）



着手前



竣 工

【現年分】

単位：円

区 分	年度内支出	繰越額	備 考
需 用 費	48,390,264	0	赤線・青線修繕料
工 事 請 負 費	1,215,000	11,994,736	青線1箇所
合 計	49,605,264	11,994,736	

●上津井青線（松川町上津井）



着手前



竣 工

事業名	災害対策費（消防費）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	09	消防費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	消防費	
担当部署	総務	課	防災		係	目	05	災害対策費
事業費					10,593,332 円	事業の目的・目標	あらゆる災害から市民の安全・安心を確保するため、防災・減災対策に取り組む。	
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			6,500,000 円				
	その他			200,000 円				
	一般財源			3,893,332 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

##### ●負担金補助及び交付金

- ・島根県防災情報ネットワーク整備事業負担金 6,579,000円
- ・島根県総合防災システム管理費負担金 1,153,000円

##### ●需用費

- ・消耗品費（災害備蓄物資；食料・給水袋等） 2,251,751円
- ・燃料費 126,568円
- ・食糧費 45,349円
- ・修繕料 17,518円



##### ●その他 420,146円

報酬	委員報酬	30,600円
旅費	旅費	49,940円
役務費	手数料・通信運搬費	29,646円
使用料及び賃借料	自動車借上料	309,960円

#### ○事業の効果

システム整備、備蓄品の購入等を行い、安全・安心をより高めることができた。